

『日本青年新聞』 民俗学関連記事目録

丸山 泰明

解説

本目録は、『日本青年新聞』および『日本青少年新聞』に掲載された民俗学に関連する記事を採録しまとめたものである。

『日本青年新聞』は大日本聯合青年団が、公称 300 万人とされた青年団の青年たちに向けて青年団運動の機関紙として 1930 (昭和 5) 年から発行した新聞である。当初は毎月 1 日に 1 回発行していたが、1931 (昭和 6) 年 2 月より、毎月 1 日と 15 日の 2 回発行するようになる。大日本聯合青年団が大日本青年団を経て、1941 (昭和 16) 年 1 月に大日本聯合女子青年団、大日本少年団連盟、帝國少年団協会と合併し、大日本青少年団となったことにともない、1941 (昭和 16) 年 2 月 15 日発行の第 250 号から『日本青少年新聞』に改称する。戦時下においても月 2 回の発行を続けていたが、戦局悪化による用紙不足と出版物の統制のため、1944 (昭和 19) 年 4 月 15 日発行の第 326 号をもって廃刊した。『日本青少年新聞』として発行された期間は比較的短く、また目録に取り上げた記事も少数であるため、表題には『日本青年新聞』のみを掲げた。本稿においても、『日本青年新聞』と総称して解説を進めていくことにしたい。

目録作成にあたっては、日本青年館に所蔵されている『日本青年新聞』を閲覧した。本目録を作成するにあたっては、日本青年館および大日本聯合青年団が行っていた民俗学に関する事業と、それらの事業に関連する各地の青年団や青年の動向について伝える記事を採録した。すなわち、日本青年館で 1925 (大正 14) 年から 1936 (昭和 11) 年まで開催された郷土舞踊と民謡の会をはじめとする郷土芸能の記事、大日本聯合青年団が進めていた郷土研究・郷土教育に関する記事、大日本聯合青年団郷土資料陳列所とそれに関連する郷土工芸や副産品についての記事である。この他にも、柳田国男などの知識人が関わる記事を採録した。

記事は 1931 (昭和 6) 年から次第に増え始め、1933 (昭和 8) 年から翌年にかけてその数はピークを迎える。だが、1936 (昭和 11) 年頃から次第に減少し、1937 (昭和 12) 年 7 月以降になるとほとんど紙面に現れなくなる。民俗学に関する記事が減少し急速に関心が失われていった背景として、日本青年館および大日本聯合青年団の組織体制が変化し、民俗学に関する事業から手を引いていったことが作用していると考えられる。日本青年館および大日本聯合青年団の創立以来理事をつとめ、民俗学に関する事業をバックアップしていた田沢義鋪は 1936 (昭和 11) 年 4 月 28 日に理事長を辞任し、新たに理事長に就任した香坂昌康は事業の見直しを図った。郷土舞踊と民謡の会は 1936 年を最後に終戦後まで再開されなくなり、1937 (昭和 12) 年秋には大日本聯合青年団郷土資料陳列所が閉所した。1937 年 7 月 7 日の盧溝橋事件を発端とする日中戦争の勃発と拡大により社会情勢が大きく変化していったことも理由としてあげることができるだろう。

『日本青年新聞』は今日では閲覧できる機関は極めて限定されている。国立国会図書館ですら所蔵・公開しておらず、全紙面を閲覧できるのは実質的に日本青年館だけである。しかしながら、1930 年代から 1940 年代にかけて、日本の政治・社会・文化が大きく変わっていく時代における青

年をめぐる動向を時事刻々と伝えるメディアとして『日本青年新聞』の資料的価値はきわめて高い。本目録が、昭和戦前期の青年層に民俗学がどのように受容され、郷土がいかに認識・表出されていったのかを探っていくための一助となれば幸いである。

凡例

- ・旧漢字は常用漢字にあらため、新字体で表記した。ただし、常用漢字にないものはその限りでない。
- ・記事の一部については、内容に理解を助けるために、見出しの他に小見出しを記載した。
- ・見出しおよび小見出しについて、縦書きの文章で用いられている繰り返し記号は横書きでは表記できないため、ひらがなにて表記した。
- ・著者名については、紙面に掲載されている肩書きおよび表現をそのまま用いた。
- ・見出しだけでは内容がわかりにくい記事や、補足が必要な記事については、見出しの後の〔〕内に注記した。

【『日本青年新聞』民俗学関連記事目録】

発行日(和暦)	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 5年 4月 15日	1	1	我らの青年と青年団 輪読会中心で好成績の東京府西多摩川崎青年団		
昭和 5年 4月 15日	1	3	時代の要求に適した副業展と生活合理化展 盛会裡に幕を閉づ		
昭和 5年 4月 15日	1	5	日本青年館だより 四月の大講堂 催し物のさまざま	第五回郷土舞踊民謡大会	
昭和 5年 5月 15日	2	2	郷土舞踊七態		つねを
昭和 5年 5月 15日	2	5	日本青年館だより 寧日なく繁盛した講堂の四月 大講堂三十一回 中講堂十五回	全国郷土舞踊民謡の大会 好評噴々裡に幕を閉づ	
昭和 5年 5月 15日	2	6	全国青年団の動き 山形県 郷土民謡舞踊大会農村振興の論文		
昭和 5年 6月 15日	3	6	全国青年団の動き 愛知県 県下八萬青年生活内容調査		
昭和 5年 7月 15日	6	6	鳩の翼	盆踊改革	
昭和 5年 10月 15日	7	4	大日本聯合青年団だより 我国最初の青年団指導者養成所 斯道の大家を講師として愈来春二月開く〔注：農村研究の講師として柳田国男、小野武夫が名前を連ねる〕		
昭和 5年 10月 15日	7	6	全国青年団の動き 群馬県 北甘青年団八木節大会		
昭和 5年 10月 15日	7	6	全国青年団の動き 大阪府 郷土舞踊は来春に延期		
昭和 6年 1月 15日	10	2	明るい郷土の要素は娯楽施設 文部省農漁村の娯楽状況公表 青年団娯楽近く集計発表	郷土芸術三百九十五種	
昭和 6年 1月 15日	10	3	今春四月十三日より十九日 郷土週間青年団大会 郷土舞踊会 青年創作展 土の文化花開く		
昭和 6年 1月 15日	10	6	全国青年団の動き 群馬県 青年創作作品展今春二月開く		
昭和 6年 2月 15日	11	5	日本青年館だより 春は講堂より 各種催物で賑ふ		
昭和 6年 3月 15日	12	3	青年春秋 郷土研究を真剣たらしめよ		大西生
昭和 6年 3月 15日	12	5	日本青年館だより 来月の講堂を飾る全国郷土舞踊		
昭和 6年 3月 15日	12	6	全国青年団の動き 兵庫県 県青年団展覧会見事な副産品		
昭和 6年 4月 1日	13	5	地方色オン・パレード 故郷を都に移した郷土舞踊民謡 郷土の誇り！ 而して日本青年館の誇り！ 毎年人気沸騰の全国郷土舞踊大会第六回		
昭和 6年 5月 1日	15	4	進歩の跡著しき 青年創作副産品展と一人一研究資料展覧会		
昭和 6年 5月 1日	15	5	第六回郷土舞踊と民謡 印象の記		
昭和 6年 5月 1日	15	6	全国青年団の動き 熊本県 郷土藝術を紹介 県聯合青年団総会		
昭和 6年 5月 15日	16	6	全国青年団の動き 大阪府 聯合青年団主催の民謡舞踊大会 来る十二日から		

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 6年 6月 1日	17	4	大日本聯合青年団 日本青年館たより 大阪で盛況の副業展と一人一研究展 第二陣		
昭和 6年 6月 1日	17	6	全国青年団の動き 島根県 神楽と田 植雛子 県青年大会準備		
昭和 6年 6月 15日	18	2	不況打開は禁酒・禁煙から…と郷土愛 に精進する若人 最近の青年禁酒運動 の情勢	劇に、舞踊に娯楽を通じて	
昭和 6年 6月 15日	18	6	大阪青年団主催 全国郷土舞踊見るの 記		神田生
昭和 6年 7月 1日	19	2	副業品も亦精製品たれ		東京 米山生
昭和 6年 7月 15日	20	2	副業展覧会の真使命		すゞき生
昭和 6年 7月 15日	20	5	盆踊の話（豊岡と対馬）		
昭和 6年 8月 1日	21	5	夏祭の思ひ出 陸前高田町		
昭和 6年 8月 15日	22	4	大日本聯合青年団 日本青年館たより 日本青年館消息 好評を博した琉球舞 踊古典劇公演会 日本青年館後援	仲良田節、瓦屋節、シヨンガ ナイ節、浜千鳥節、加那ヤウ 節	
昭和 6年 8月 15日	22	5	夏祭の思ひ出 陸前高田町		
昭和 6年 9月 1日	23	5	郷土舞踊民謡 はね踊 広島県沼隈郡 神村	一・名称、二・沿革及意味、 三・演出方法の大要、四・歌 詞、五・演出に要する設備、 六・演出に要する時間、七・ 経費、八・出演者	
昭和 6年 9月 15日	24	5	郷土舞踊民謡 田植踊 宮城県名取郡 秋保村		神田生
昭和 6年 9月 15日	24	5	お国自慢 特産風土記 秋田の巻		山中生
昭和 6年 10月 15日	26	5	郷土舞踊民謡 餅搗踊 埼玉県北足立 郡加納村	一・名称、二・起源、三・演 出方法の大要、四・歌詞	
昭和 6年 10月 15日	26	5	お国自慢 特産風土記 宮城の巻		山中生
昭和 6年 11月 1日	27	5	郷土舞踊民謡 神踊り 徳島県名東郡 上八萬村宅宮神社	一・名称、二・沿革、三・演 出方法の大要、四・歌詞、 五・演出時間、六・経費、 七・出演者	徳島県社会教育 主事森明磨氏報 告
昭和 6年 11月 1日	27	5	お国自慢 特産風土記 山形の巻		山中生
昭和 6年 12月 1日	29	5	お国自慢 特産風土記 青森の巻		山中生
昭和 6年 12月 15日	30	3	逐年と反響増大の二つの展覧会 実施 計画決定	第五回青年創作副業展覧会、 第二回一人一研究資料展覧会	
昭和 6年 12月 15日	30	5	郷土舞踊民謡 雨乞踊 滋賀県阪田郡 大原村	一・名称、二・沿革、三・演 出の方法、四・歌詞	松原生
昭和 6年 12月 15日	30	5	お国自慢 特産風土記 福島の巻		山中生
昭和 7年 1月 1日	31	5	郷土舞踊民謡 萬歳の種々相 越前・ 尾張・伊予	寺本萬歳、野大坪萬歳、伊予 萬歳	神田生
昭和 7年 1月 1日	31	5	お国自慢 特産風土記 岩手の巻		山中生
昭和 7年 1月 15日	32	4	大日本聯合青年団 日本青年館たより 第五回青年創作副業品展覧会 第二回 一人一研究資料展覧会	第二次展覧会会場と期日、第 一次展覧会、一人一研究展覧 会出品注意	
昭和 7年 1月 15日	32	5	郷土舞踊民謡 神迎踊 石川県能美郡 白峰村	一・名称、二・沿革、三・演 出方法の大要、四・演出時 間、五・出演者、六・歌詞	小島石川県社会 教育主事補寄稿
昭和 7年 1月 15日	32	5	お国自慢 特産風土記 新潟の巻 (上)		山中生
昭和 7年 2月 1日	33	5	お国自慢 特産風土記 新潟の巻 (下)		山中生

発行日 (和暦)	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 7年 2月 1日	33	7	郷土舞踊と民謡の会 一時開催見合せ		
昭和 7年 2月 15日	34	3	青年団経営のはなし 年中行事表のつくり方 (1)		
昭和 7年 2月 15日	34	5	出品歓迎 青年創作副業展覧会 一人一研究展覧会		
昭和 7年 2月 15日	34	5	お国自慢 特産風土記 石川の巻		山中生
昭和 7年 3月 1日	35	3	青年団経営のはなし 年中行事表のつくり方 (2)		
昭和 7年 3月 1日	35	3	大日本聯合青年団主催 青年創作副業品展覧会 一人一研究資料展覧会 締切期日切迫す		
昭和 7年 3月 1日	35	5	お国自慢 特産風土記 富山の巻		山中生
昭和 7年 3月 15日	36	5	お国自慢 特産風土記 長野の巻		山中生
昭和 7年 4月 1日	37	5	お国自慢 特産風土記 山梨の巻		山中生
昭和 7年 4月 15日	38	2	青年の作品は光る 傑作廿八点の創作副業展		
昭和 7年 4月 15日	38	5	お国自慢 特産風土記 福井の巻		山中生
昭和 7年 4月 15日	38	6	奈良県 男女青少年団大会『郷土舞踊』の競演		
昭和 7年 5月 1日	39	5	お国自慢 特産風土記 東京の巻 (上)		山中生
昭和 7年 5月 15日	40	5	若葉の京都に 盛大をきはめた第二次創作副業展		
昭和 7年 5月 15日	40	5	大阪府聯青の青年創作副業展		
昭和 7年 5月 15日	40	5	お国自慢 特産風土記 東京の巻 (下)		山中生
昭和 7年 6月 1日	41	3	お国自慢 特産風土記 千葉の巻		山中生
昭和 7年 6月 15日	42	3	お国自慢 特産風土記 埼玉の巻		山中生
昭和 7年 7月 1日	43	3	お国自慢 特産風土記 茨城の巻		山中生
昭和 7年 7月 1日	43	8	通牒欄 農民美術研究所は		
昭和 7年 7月 15日	44	3	お国自慢 特産風土記 群馬の巻		山中生
昭和 7年 7月 15日	44	6	青年団経営のはなし 如何に町村青年団史を編纂すべきか		
昭和 7年 8月 1日	45	3	お国自慢 特産風土記 栃木の巻		山中生
昭和 7年 8月 15日	46	5	学藝欄 農民劇の実際		小寺融吉
昭和 7年 9月 1日	47	3	お国自慢 特産風土記 神奈川の巻		山中生
昭和 7年 9月 15日	48	3	農村副業品の海外進出をめざして 第一回輸出品向展覧会開かる		
昭和 7年 10月 15日	50	5	学藝欄 郷土と民謡		白鳥省吾
昭和 7年 11月 1日	51	3	お国自慢 特産風土記 兵庫の巻		山中生
昭和 7年 11月 1日	51	3	ブックレビュー 郷土教育運動 (小田内通敏著)		
昭和 7年 11月 1日	51	5	学藝欄 郷土と民謡 (二)		白鳥省吾
昭和 7年 11月 15日	52	3	お国自慢 特産風土記 広島巻		山中生
昭和 7年 11月 15日	52	3	ブックレビュー 郷土経済史研究提要を読む 小野武夫博士の近業		
昭和 7年 12月 1日	53	3	お国自慢 特産風土記 岡山の巻		山中生
昭和 7年 12月 1日	53	3	ブックレビュー 福岡県郷土読本 小出満二 三松荘一共編		
昭和 7年 12月 15日	54	3	お国自慢 特産風土記 愛媛の巻		山中生
昭和 8年 1月 1日	55	6	産業経済欄 副展と一人一研究展	第六回青年創作副業品展覧会	

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 8 年 1 月 1 日	55	6	お国自慢 特産風土記 高知の巻		山中生
昭和 8 年 1 月 15 日	56	6	お国自慢 特産風土記 香川の巻		山中生
昭和 8 年 2 月 1 日	57	6	お国自慢 特産風土記 徳島の巻		山中生
昭和 8 年 2 月 15 日	58	3	各地にあふる、創作熱と研究熱 期待さる、今春の展覧会		
昭和 8 年 2 月 15 日	58	6	お国自慢 特産風土記 島根の巻		山中生
昭和 8 年 3 月 1 日	59	2	輝かしき郷土週間 来る四月日本青年館に開催	第九回大会要項、郷土舞踊民謡の大会、第六回青年創作副業展 第三回一人一研究資料展	
昭和 8 年 3 月 1 日	59	5	今年の郷土舞踊民謡の会	一 大阪の鼓踊、二 滋賀の雨乞踊、三 宮城の田植踊、四 福井の萬歳	小寺融吉
昭和 8 年 3 月 15 日	60	5	今年の郷土舞踊民謡の会（承前）	五 愛知の知多萬歳、六 徳島の人形浄るり、七 大分の盆踊	小寺融吉
昭和 8 年 4 月 1 日	61	3	愈々近づいた郷土週間 非常時局を反映した大会議題と出品点数二万点突破の副業展の盛況		
昭和 8 年 4 月 15 日	62	2	近づく郷土週間		
昭和 8 年 4 月 15 日	62	2	本団昭和八年度事業の展望 新天地を開拓しつ、伸び行く本団の事業施設	新規事業（1）青年団郷土博物館	
昭和 8 年 5 月 1 日	63	1	郷土週間を顧みて		
昭和 8 年 5 月 1 日	63	6	郷土色豊けき青年の創作副業品展覧会	大官名士の来館相継ぐ、栄ある入賞者	
昭和 8 年 5 月 1 日	63	9	学藝欄 郷土舞踊を観る		北野博美
昭和 8 年 5 月 1 日	63	9	郷土藝術礼賛 郷土舞踊と民謡を観て		白鳥省吾
昭和 8 年 5 月 1 日	63	10	政治・経済・産業 創作副業展大観（一）	北海道、山形県、茨城県、群馬県、東京府、新潟県、福井県、長野県	内海一雄
昭和 8 年 5 月 1 日	63	10	お国自慢 特産風土記 静岡の巻		山中生
昭和 8 年 5 月 15 日	64	3	神戸市に開かれた副展第二次展の盛況		
昭和 8 年 5 月 15 日	64	4	本団及日本青年館便り 調査部ニュース		
昭和 8 年 5 月 15 日	64	6	創作副業展大観（二）	岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、島根県、岡山県、香川県、埼玉県、京都府、兵庫県、山口県、高知県、愛媛県、鹿児島県、朝鮮	内海一雄
昭和 8 年 5 月 15 日	64	6	お国自慢 特産風土記 岐阜の巻		山中生
昭和 8 年 6 月 1 日	65	4	本団及日本青年館便り 更生は郷土の再認識からと愈々郷土新興講習会開催〔注：柳田国男が「郷土調査と民俗」と題して講演〕		
昭和 8 年 6 月 1 日	65	6	お国自慢 特産風土記 岐阜の巻〔注：岐阜は誤植で実際は三重〕		山中生
昭和 8 年 6 月 1 日	65	7	青年団で郷土の研究 青森県聯青の新計画		
昭和 8 年 6 月 15 日	66	6	お国自慢 特産風土記 愛知の巻		山中生
昭和 8 年 7 月 1 日	67	7	伊東青年の光栄 副業品御嘉納		
昭和 8 年 7 月 15 日	68	4	本部だより 調査部ニュース 青年団博物館		
昭和 8 年 8 月 1 日	69	3	懸賞募集 郷土調査研究項目		

発行日 (和暦)	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 8年 9月 1日	71	5	学藝欄 副業としての趣味竹細工		松田竹材工藝研究所長 松田鐵太郎
昭和 8年 9月 1日	71	7	盆踊りは上品にやらうではないか		
昭和 8年 9月 1日	71	8	青年図書推薦 日本労農伝 大西伍一著		
昭和 8年 9月 1日	71	8	青年図書推薦 秋風帖 柳田国男著		
昭和 8年 9月 15日	72	14	本館創立十周年事業		
昭和 8年 9月 25日	73	5	学藝欄 郷土研究と青年団		大西生
昭和 8年 10月 15日	74	5	郷土資料陳列所の趣意		
昭和 8年 10月 15日	74	5	資料蒐集に就ての御依頼	一・何を収集するか、二・陳列品の収集又は製作に就て、三・陳列品の送り方について、四・陳列品の受領について、五・一般郷土資料の収集について	
昭和 8年 10月 15日	74	6	郷土資料とはどんなものか	一・住居、二・労働服装と運搬具並に運搬法、三・郷土の行事、四・郷土開発の偉人、五・郷土の誇り	
昭和 9年 11月 15日	76	3	調査部ニュース 郷土資料陳列所	岩手県より、群馬県より、栃木県より、出品期限、送料、郷土調査、此頃	
昭和 8年 12月 1日	77	3	副業展は名古屋		
昭和 8年 12月 1日	77	3	郷土調査項目懸賞当選者		小田内通敏
昭和 8年 12月 1日	77	4	郷土資料陳列所便り	寄贈、照会、民家研究会、模型工作法、青年記念日、山形県風俗人形、臨地研究会、郷土調査、来訪	
昭和 8年 12月 15日	78	3	郷土資料陳列所便り	快報来る、農業発達史料、来訪、蒐集旅行に	係員 大西伍一
昭和 9年 1月 1日	79	4	郷土資料陳列所便り どしどし資料のご送付を乞ふ	寄贈品 農家の模型	
昭和 9年 1月 1日	79	8	副業展と一研究展 来たる四月と五月東京都名古屋に華々しく開催 団員諸君の盛なる出品を望む	第七回青年創作副業品展覧会、第四回一人一研究資料展覧会	
昭和 9年 1月 1日	79	9	青年の正月 「腹合せ」の行事		柳田国男
昭和 9年 1月 15日	80	3	郷土資料陳列所は諸君に何を望む？ 資料を通して正しい日本の姿を見よ	まづ日本的なもの、民藝品、いわゆる副業品、立体的なものが欲しい、踏俵	
昭和 9年 1月 15日	80	5	郷土生活行進曲		相馬御風
昭和 9年 2月 1日	81	4	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	野の声、郷土調査、寄贈品	
昭和 9年 2月 15日	82	2	新たに北海道と朝鮮を加へ ますます郷土色豊かな第八回全国郷土舞踊民謡大会 来る四月十三日より十五日まで日本青年館に於て開催		
昭和 9年 2月 15日	82	4	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	冊子贈呈、民家模型、寄贈品	
昭和 9年 3月 1日	83	4	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	青年団調査、郷土調査、呈上、種蒔き、東北地方の資料、寄贈品	

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 9 年 3 月 15 日	84	4	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	元服、禪祝、農具市、郷土博物館運動、寄贈品	
昭和 9 年 3 月 15 日	84	9	全国青年団の活躍 竹細工の講習会		
昭和 9 年 4 月 1 日	85	2	郷土舞踊と民謡大会		
昭和 9 年 4 月 1 日	85	2	副業展と一人一研究展		
昭和 9 年 4 月 1 日	85	8	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	支援の声、資料収集、パンフレット、寄贈品	
昭和 9 年 4 月 1 日	85	9	青年団の娯楽に三島番楽を復活 秋田県醍醐村青年団活発に動く		
昭和 9 年 4 月 15 日	86	3	春の外苑に誇る 郷土舞踊民謡大会 青年創作副業展 その華々しき序曲		
昭和 9 年 4 月 15 日	86	4	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	東北へ、野生植物の利用、南部紫、郷土工藝、東北健児、山小舎の模型、寄贈品	
昭和 9 年 4 月 15 日	86	5	学藝欄 農民美術の健康な美		森口多里
昭和 9 年 5 月 1 日	87	6	空前の大盛況 愈々面目躍如たる創作副業品展覧会		
昭和 9 年 5 月 1 日	87	6	第四回一人一研究展覧会		
昭和 9 年 5 月 1 日	87	6	ネオンとジャズを圧して大空を流れ行く望郷のメロデー 盛会を極めた本館の第八回郷土舞踊民謡大会		
昭和 9 年 5 月 1 日	87	6	青年創作副業展出品物批判座談会		
昭和 9 年 5 月 1 日	87	9	学藝欄 端午の節句と鯉幟		中西用康
昭和 9 年 5 月 1 日	87	10	全国青年団の活躍 松島玩具製作に精進		
昭和 9 年 5 月 1 日	87	10	全国青年団の活躍 向ふ鉢巻で藁細工競技大会		
昭和 9 年 5 月 15 日	88	7	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	一千五百点、今回の寄贈品、郷土室を見て、寄贈品	
昭和 9 年 5 月 15 日	88	11-12	郷土資料陳列所 既集資料品目録 こんな物が集まりました こんな物を送って下さい	育児用具、家庭用品、弁当箱、労働服装品、灯火具、住居、製蠟具、紡織関係品、染色、漆工具並に漆器、郷土工藝、郷土の誇り、冠り物、蓑及背当類、運搬用具、はばき、手袋、履物類、牛馬具、雑	
昭和 9 年 5 月 15 日	88	11	東京高等工藝学校講師 日本民家研究会会員 蔵田周忠先生著 日本民家の模型製作に就て		
昭和 9 年 5 月 15 日	88	11	呈上「郷土資料の収集について」		
昭和 9 年 6 月 1 日	89	3	この光栄！ 宮内省のお買上に輝く本団副展出品の数々		
昭和 9 年 6 月 1 日	89	4	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	立体的資料、参観者、寄贈について、寄贈品	
昭和 9 年 6 月 1 日	89	7	全国青年団の活躍 勸業部・弁論部共同で郷土物産の宣伝に行脚 滋賀県信楽町青年団		
昭和 9 年 7 月 1 日	91	2	郷土資料陳列所 半歳の歩みと反響 幹旋者七〇〇人 総点数四〇〇〇点	郷土を識り郷土を愛し郷土を拓くのが青年団の使命である、寄贈品目録	

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 9 年 7 月 1 日	91	7	全国青年団の活躍 県聯合処女会と提携 副展及一研究展を開催 今秋九月を期し大垣で		
昭和 9 年 7 月 15 日	92	7	全国青年団の活躍 世相を反映する「青年生活展」を八王子市公会堂に開く		
昭和 9 年 8 月 1 日	93	6	学藝欄 盆踊の話	よき盆踊、農村の娯楽と盆踊、踊るべきもの	小寺融吉
昭和 9 年 8 月 15 日	94	2	郷土資料陳列所を期して青年団資料展覧会 今秋日本青年館に開かる		
昭和 9 年 8 月 15 日	94	5	青年団資料展覧会		
昭和 9 年 8 月 15 日	94	5	本部のニュース 郷土資料陳列所	暑中の近況、まだ蒐めたいもの	
昭和 9 年 9 月 1 日	95	2	青年団資料展覧会 十一月二日-六日 日本青年館		
昭和 9 年 9 月 1 日	95	5	本部のニュース 郷土資料陳列所	今日から工事、渋沢子爵来訪、八丈島から、新しい受付品、応問	
昭和 9 年 9 月 1 日	95	9	全国青年団の活躍 大阪府聯合青年団 青年処女作品展覧会 九月七日-十二日		
昭和 9 年 9 月 15 日	96	3	各地の協力を待つ郷土資料陳列所開所と共に青年団資料展覧会 十一月二日より五日間 日本青年館に開催		
昭和 9 年 9 月 15 日	96	3	郷土資料陳列所工事進む		
昭和 9 年 10 月 1 日	97	5	郷土資料陳列所ニュース 団員諸君の熱烈なる支援を望む	郷土造型研究会、郷土映画の会、老農の資料、民家模型	
昭和 9 年 10 月 1 日	97	7	全国青年団の活躍 第二回 岐阜県下の青年 創作副業品展及一人一研究資料展		
昭和 9 年 10 月 15 日	98	3	愈々開所公開せらるゝ郷土資料陳列所 十一月二日 盛大なる開所式		
昭和 9 年 10 月 15 日	98	3	青年団資料展覧会		
昭和 9 年 10 月 15 日	98	5	本部のニュース 調査部		
昭和 9 年 11 月 1 日	99	9	社会の視聴を聚めて愈々二日より開かれる青年団資料展覧会 見落としてはならぬ陳列品	若連中時代の研究資料、若者宿は何処に残つて居るか？、旧藩時代の青年教育には、地方青年団の活動状況を窺ふものとしては、参考資料の中に眼を惹くもの	
昭和 9 年 11 月 1 日	99	9	青年の郷土研究 郷土資料陳列所に諸君の熱烈なる支援を望む	履物の研究、瀬戸内海の漁具、漁具寄贈の動機、イタヤ細工実演、瀬戸陶業年表	
昭和 9 年 11 月 15 日	100	-	郷土資料陳列所グラフ	明治節の明治神宮へ参拝する団員、宇野円空氏の記念講演、郷土資料陳列所開所式、開所式後の余興、名士の陳列所参観、尾張一宮の水無神社祭礼の衣、二宮尊徳翁の筆蹟	
昭和 9 年 11 月 15 日	100	-	青年団資料展覧会グラフ	青年団資料展覧会、愛媛県大三島のトンド、地方青年団の出品物、展覧会場の一部、郷校設立願書、青年団服その他の資料	

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和 9年 11月 15日	100	4-5	郷土に生き郷土を描く青年団 力強く郷土美を誇る郷土資料陳列所開所 尊き古き資料を集めて青年団資料展も共に開催	郷土資料陳列所、第一室、第二室、第三室、青年団資料展覧会、農村と都市との青年団の相互の特色を示す第一室、青年団の貴重な発達資料に輝く第二室、注目をひいた若連中の条目、若連中の使用した諸道具類、若連中と祭礼の資料、珍しい青年宿の資料、整理された記録類、法被団服に飾られた第三室、外国青年運動を語る第四室と現況を告げる五室、庶民教育資料の第六室 徳川時代の教育を語る、展覧会の成果	
昭和 9年 12月 15日	102	3	来春の日本青年館に二つの展覧会と郷土舞踊 実施計画大綱決定	第八回青年創作副業品展覧会、第五回一人一研究資料展覧会	
昭和 9年 12月 15日	102	3	斯界権威一同に会す 郷土資料陳列所座談会 日本青年館に開く		
昭和 10年 1月 15日	104	1	産業日本に先駆する副展・一人一研究展 全国団員待望裡にいよいよ近づく		
昭和 10年 1月 15日	104	4	通牒欄 第八回青年創作副業品展覧会 第五回一人一研究資料展覧会	副業展要項、一人一研究展要項	
昭和 10年 1月 15日	104	6	学藝欄 郷土工藝を語る	人生即工藝である、日本の自然美、郷土工藝の特色、愛する調度を割愛す、家庭工藝、同胞を救ひ海外へ、工藝を以て人類を愛す	藤井達吉
昭和 10年 2月 15日	106	1	面目を新たにした第九回全国郷土舞踊民謡大会 来たる四月五日より三日間日本青年館に於て開催	一・幸若舞、二・円通寺ぶし、三・御田・仏の舞、四・鹿島踊、五・西馬音内の盆踊	
昭和 10年 2月 15日	106	6	学藝欄 輸出向副業品の話	竹製品、意外な歓迎、木工品、輸出品製作者の心掛、輸出の現況	山中省三
昭和 10年 3月 1日	107	1	愈々開催日迫る副展・一人一研究展係員整理に忙殺		
昭和 10年 3月 1日	107	6	学藝欄 郷土民謡と舞踊の保存と其の将来	労働の民謡、民謡の変遷、古民謡、古人の生活態度、古民謡の保存、舞踊と青年、郷土舞踊の意義、日本の特色、日本青年館の企て	小寺融吉
昭和 10年 3月 1日	107	5	本部のニュース 調査部 郷土資料陳列所ニュース	参観者、寄贈品（一月以降）、当所の紹介	
昭和 10年 3月 15日	108	3	開催日迫る副展、一人一研究展 申込殺到す		
昭和 10年 3月 15日	108	5	本部のニュース 調査部	副業品展覧会、一人一研究展覧会、青年団研究資料、山中文庫の寄贈、古代異種の雛人形、民家の模型図譜	
昭和 10年 4月 1日	109	5	本部のニュース 調査部	副業品展覧会、一人一研究展覧会、調査部新年度事業	

発行日 (和暦)	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和10年 4月15日	110	3	青年創作副業品展覧会と郷土民謡舞踊大会に賑つた本団郷土週間の盛況	宮内省お買上の光栄に輝く副展と一人一研究展、古典美豊かな舞踊と民謡 - 欧米人を驚かす、渋味に終始した舞踊	
昭和10年 5月 1日	111	4	郷土資料陳列所 社会的に貢献す		
昭和10年 5月 1日	111	6	副業欄		
昭和10年 5月 1日	111	7	全国青年団の活躍 地方色溢れる青年の創作 香川県下男女製作品展覧会		
昭和10年 5月15日	112	14	学藝欄 農村住宅の改善	改善への態度、住宅改造の一部、家族本位へ	
昭和10年 5月15日	112	14	副業欄		
昭和10年 6月 1日	113	12	副業欄 副業青年としての修養		
昭和10年 6月 1日	113	14	妊娠出産育児の民族資料募集		恩賜財団愛育論
昭和10年 6月15日	114	10	副業欄 副業を始める迄		
昭和10年 6月15日	114	12	我が国最初の民俗学の講習会		
昭和10年 7月 1日	115	9	本部のニュース 調査部	都市聯合青年団現況調査、青年団沿革資料	
昭和10年 7月 1日	115	9	本部のニュース 郷土資料陳列所	最近の入荷品、山形県新庄町の青年団員、ドイツから、シユミット博士、スタンプ、月報	
昭和10年 7月 1日	115	12	副業欄 輸出工藝品の話		
昭和10年 7月15日	116	6	学藝欄 海をめぐる伝説	浜の真砂、海幸彦・山幸彦、島、石、幽霊船、人魚	大田黒克彦
昭和10年 7月15日	116	8	副業欄 「手」の勝利		
昭和10年 8月 1日	117	1	青年と娯楽		
昭和10年 8月 1日	117	1	研究指導奨励の積極化 一人一研究資料展の出品物は年中受付く 団員は振つて出品せよ		
昭和10年 8月15日	118	3	聴音台 還暦はうれし [注: 柳田国男の還暦記念による日本民俗学講習会に関する記事]		
昭和10年 8月15日	118	5	本部のニュース 調査部		
昭和10年 8月15日	118	6	山をめぐる伝説	天地開闢の時、巨人が棲んで、背くらべ、三人姉妹の山、石合戦、山神が、山が独りで、黒百合、釣人と僧、燕	黒田克郎
昭和10年 8月15日	118	6	副業欄 埋もれた宝		
昭和10年 9月 1日	119	3	山形県長井町青年団員の郷土資料陳列品見学 全行程を自転車で走破		
昭和10年 9月 1日	119	4	本部のニュース 調査部	郷土愛護の実例募集	
昭和10年 9月15日	120	5	本部のニュース 調査部		
昭和10年10月 1日	121	5	本部のニュース 調査部	副業研究と郷土資料、郷土愛護の実例	
昭和10年10月15日	122	9	本部のニュース 調査部	英国への土産、多摩川流域の人文調査	
昭和10年11月 1日	123	3	第九回青年創作副業展 展覧会に就ての会合		
昭和10年11月 1日	123	4	通牒公示欄 郷土工藝に関する調査研究費補助規程発表さる		
昭和10年11月 1日	123	5	本部のニュース 調査部	中華民国留学生来館、「とてもよい」	

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和10年11月15日	124	9	本部のニュース 調査部	満一年、台覧、最近の貸出品	
昭和10年12月1日	125	4	通牒公示欄 通牒 第九回青年創作副 業品展覧会		
昭和10年12月1日	125	5	本部のニュース 調査部	青年団発達資料収集の為、陳 列替	
昭和10年12月15日	126	8	美術と工藝の話 柳宗悦著		
昭和11年1月1日	127	11	本部のニュース 調査部		
昭和11年1月1日	127	12	道祖神の由来 正月の行事		岩越昌三
昭和11年1月15日	128	2	青年団の前身 徳川時代に於ける若者 団体の規約		
昭和11年1月15日	128	5	本部のニュース 陳列所	正月の飾りつけ、年中行事資 料、年中行事と青年団	
昭和11年2月1日	129	5	本部のニュース 陳列所	スキーとカンジキの特別陳 列、最近の貸出品	
昭和11年3月1日	131	3	好評裡に終始せるスキーとカンジキ展 二月十一日より十七日まで郷土資料陳 列所に於て		
昭和11年3月1日	131	4	本部のニュース 陳列所	スキーとカンジキ展の資料か ら	
昭和11年3月1日	131	5	青年と舞踊と民謡と		小寺融吉
昭和11年4月1日	133	1	郷土芸術復興		
昭和11年4月1日	133	2	第十回 帝都の年中行事 郷土舞踊民 謡大会の素晴らしき内容決定	沼隈踊、三宅島の唄と踊、対 馬の唄と踊、やがえ節、毛越 寺の延年の舞、網干音頭	
昭和11年4月1日	133	3	産業青年の一大縮図 副展の出品申込 締切迫る 急いで苦心の創作品を送付 されよ		
昭和11年4月1日	133	5	本部ニュース 調査部	青年団経営事例、副業展	
昭和11年4月1日	133	5	本部ニュース 陳列所	特別陳列、青年副業参考品	
昭和11年4月1日	133	6	学藝欄 輸出向の副業品に就いて		農林省副業課長 五十子卷三
昭和11年4月1日	133	13	全国青年団の活躍 創作副業品展各地 に開催さる 六年がかりで五重塔 玄 人はだしの出品に賑はふ		
昭和11年4月15日	134	1	副展の出品締切日迫る!! 創意になる 作品を 奮つて送付されよ		
昭和11年4月15日	134	5	本部ニュース 陳列所	郷土舞踊大会の記録、新着 品、副展参考品貸出し	
昭和11年4月15日	134	6	学藝欄 輸出向の副業品に就いて（承 前）		農林省副業課長 五十子卷三
昭和11年4月15日	134	9	全国青年団の活躍 伸び行く一人一研 究 各加盟団の力瘤		
昭和11年5月1日	135	5	本部ニュース 陳列所		
昭和11年5月15日	136	1	郷土色を盛つて華々しく開かれた青年 創作副業品展 都人士の人気をあつめ る		
昭和11年5月15日	136	4	本部ニュース 調査部	郷土資料陳列所	
昭和11年5月15日	136	9	栃木版 第九回青年創作副業品展覧会 出品		
昭和11年5月15日	136	9	郷土藝術大会出演		
昭和11年6月1日	137	2	副業日本の豪華版 満都の人気を集め た本団副展の盛況		

発行日 (和暦)	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和11年 6月 1日	137	2	副業青年の光栄 皇后宮職御内儀より お買上の御沙汰を拝す	御買上の光栄に浴した人々	
昭和11年 6月 1日	137	3	光栄の郷土工藝品		
昭和11年 6月 1日	137	5	本部ニュース 調査部	郷土資料陳列所	
昭和11年 7月 1日	139	2	台頭目覚ましき住宅改善問題 容易に できる新築改築の方法		
昭和11年 7月 1日	139	2	郷土色豊かな写真の収集		
昭和11年 7月 1日	139	8	本部ニュース 調査部	若者制度の研究、郷土資料陳 列所、青年団史料年表、資料 陳列所の内容	
昭和11年 8月 15日	142	8	本部だより 調査部	郷土資料陳列所 女子作業服 の研究	
昭和11年 9月 1日	143	16	本部だより 調査部	若者制度の研究	
昭和11年 9月 15日	144	5	郷土に輝く青年 漁具と漁場調査に専 門家を驚かす 問座喜一君	十七歳にして研究、鱸の漁 具・漁場・鱸漁場の局所的研 究、比目魚の漁場、専門家を 驚かす、不漁は告白された	
昭和11年 9月 15日	144	8	本部だより 調査部	郷土資料陳列所「郷土工芸に 関する調査研究報告」	
昭和11年 10月 1日	145	1	青年生活の縮図 躍進日本の産業に光 明を期待される 第六回一人一研究資 料展覧会いよいよ開かる		
昭和11年 10月 1日	145	3	副展回顧資料と農村工業化参考資料の 陳列 一人一研究展に附設		
昭和11年 10月 1日	145	8	本部だより 郷土資料陳列所	郷土室が開かれる、お土産	
昭和11年 10月 1日	145	10	栃木県 副業品製作に精進する 鹿沼 町青年団		
昭和11年 10月 15日	146	6	学藝 働く人の着物		柳田国男
昭和11年 10月 15日	146	14	本部だより 調査部	若者制度の研究、郷土資料陳 列所、第七回博物館大会	
昭和11年 11月 1日	147	8	本部だより 調査部	郷土資料陳列所、山中文庫の 整理	
昭和11年 11月 15日	148	17	全国青年団の活躍 創作副業品展		
昭和11年 11月 15日	148	18	本部だより 調査部	若者団体旧慣調査	
昭和11年 12月 1日	149	8	本部だより 調査部	副業品展覧会、郷土資料陳列 所	
昭和11年 12月 15日	150	3	第十回青年創作副業品展覧会は明年秋 季に開催されん 一人一研究と同時に		
昭和12年 1月 1日	151	14	本部だより 調査部	郷土資料陳列所、牛に関する 地方資料	
昭和12年 1月 15日	152	4	全国青年団の活躍 若連中の名残留め て 若連中の活躍の話		
昭和12年 1月 15日	152	5	花祭 三河に咲く青年の踊り		
昭和12年 1月 15日	152	5	郷土芸術の競演 佐賀県青年団の総会 で		
昭和12年 1月 15日	152	8	本部だより 調査部	若者団体旧慣調査	
昭和12年 2月 1日	153	12	本部だより 調査部	郷土資料陳列所	
昭和12年 2月 15日	154	11	郷土に輝く青年 越後魂の發揮 副業 軍手に新境地 樋口徳章君		
昭和12年 3月 15日	156	5	藁細工に更生の気合		
昭和12年 3月 15日	156	5	青年の純情 村の祭典を善導す 群馬 県千代田村		

発行日（和暦）	号	面	見出し	小見出し	著者
昭和12年 3月15日	156	13	三重版 県内若人の苦心 創作品展覧会 実に一千八百余点の出品		
昭和12年 4月 1日	157	3	郷土藝術も出る 宮城県青年団大会		
昭和12年 4月 1日	157	8	本部だより 調査部	『郷土調査の仕方』、郷土資料陳列所、農山村の労働服のこと	
昭和12年 4月15日	158	3	天晴れ農藝美術家 創作副業の奨励に幹部講習		
昭和12年 4月15日	158	14	佐賀版 郷土色豊かな農村藝術発表 佐賀郡聯青大会		
昭和12年 5月15日	160	2	女は家で副業 野良仕事には使はぬ 新潟県北鯖石村の新計画		
昭和12年 5月15日	160	4	更生踊 民謡を顕彰募集す		
昭和12年 7月15日	164	6	学藝 盆踊の話		小寺融吉
昭和12年 9月 1日	167	12	本部だより 調査部	郷土資料陳列所、「山袴の話」の出版	
昭和12年11月15日	172	2	古代青年競技の研究から力石・棒押腕角力の復活 若者時代のゴルフは東京府下が先鞭		
昭和12年12月 1日	173	12	本部だより 調査部	山袴の話頒布	
昭和13年 4月 1日	181	12	本部だより 調査部	郷土資料	
昭和13年 7月 1日	187	6	学藝 東京府下で発見した若者衆の力石		東京府青年指導員 清水庫之祐
昭和14年 3月15日	228	6	学藝 民藝展を観る		大崎範一
昭和16年 2月15日	250	6	文化 獨逸民俗学と教育		国際文化振興会 大藤時彦
昭和16年 2月15日	250	6	文化 郷土藝術と青少年 愛知の文書教育大会を観て		田中健一
昭和18年 5月15日	304	3	少年団だより 菊池精神の発揚へ 郷土研究と科学調査の合致		熊本市川尻少年団長八木據満
昭和18年10月 1日	313	4	教養 郷土生活を調査し創意工夫を生かせ 戦時女子青年団錬成要綱（草案）続き		